



2/14 (金) 11:30~16:00 TPAMエキスチェンジ@BankART studio NYK 2F

		11:30-12:00	12:10-12:40	12:50-13:20	13:30-14:00	14:10-14:40	14:50-15:20	15:30-16:00
グループ・ミーティング (30分) 予約不要	ルーム	音楽ユニット「ASA-CHANG&巡礼」のダンス作品介绍 «日本語・英語通訳あり» ASA-CHANG・奥野将徳	チェルフィッチュと篠田千明の活動紹介 «日本語・英語通訳あり» 黄木多美子・河村美帆香	ダンスカンパニー「ニブロール」の活動紹介 «日本語・英語通訳あり» 奥野将徳	岸田賞受賞作『前向き！タイムン』のご紹介(ミクニヤナイハラプロジェクト) «日本語・英語通訳あり» 奥野将徳	東京文化発信プロジェクトとは？ «日本語・英語通訳あり» 森隆一郎	日本人プロデューサー・アーティストに向けたオーストラリアの新助成制度について «英語・日本語通訳あり» ローズマリー・ハインド (オーストラリア・カンシル・フォー・ジ・アーツ)	日本最大級の舞台芸術のアーティスト・インレジデンス施設がオープンします «日本語・英語通訳あり» 西山葉子 (城崎国際アートセンター) ★2/15 14:10にも実施
	テーブル	ネットワークづくりについて 野村政之 (青年団・こまばアゴラ劇場)	アサヒグループ芸術文化財団の助成活動について 竹田義信	これから必要となる舞台制作者の人材育成プログラムとは、どのようなものか？ 藤原顕太・斉木香苗 [Next]	セゾン・フェローの助成プログラム紹介と、助成金の計画的活用について 岡本純子	小さなダンス教室や個人のハコフォーマが効率的にビジネスを拡大できる強力な戦略 長岐裕之(一般社団法人日本バレエダンサー育成協会)	セゾン文化財団 国際プロジェクト支援へコラボレーションについて 考えよう～ «状況により英語通訳あり» 堤治菜	「ままごと」小豆島滞在記 宮永琢生 ★2/15 12:50にも実施
		あうるすぽっとへの提案ヒアリング ヲガキ浩美・岸本匡史	りゅーとびあ製作の演劇作品シリーズ“物語の女たち”の紹介 今尾博之 (りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館)	国際交流基金の舞台芸術事業について 別府将史	KOBE-Asia Contemporary Dance Festival #3について、その他のプログラムについて 横堀ふみ	若手制作者のつどい 野村政之 (青年団・こまばアゴラ劇場)	王子小劇場を利用してシーンにデビューしよう 玉山悟	舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)の活動とこれから 中村茜・小倉由佳子・武田知也
		舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)の活動とこれから «英語» 齋藤啓	タイのソサイ・パントム劇場：芸術的出会いのためのパフォーマンス 「アーツ・スペース」 ピヤワット・タムクラングーン ★2/15 14:10にも実施	Kakiseniの旅 — マレーシアのアートの戦士を探して «英語» ロウ・ナイユエン ★2/15 14:50にも実施	インドの新しい劇作について «英語» ニール・チョウドリー	アジア・カルチュラル・カウンシル(ACC)の助成プログラムについて «状況により英語通訳あり» 吉野 律 ★2/15 15:30にも実施	WHSのヴィジュアル・シアターのご紹介 «英語» アンヌ・ヤマサ	Korea Arts Management Service (KAMS) の国際交流プログラム «英語» カン・イェナ ★2/15 15:30にも実施
		地域で国際演劇祭を行なうことは～「ふじのくにせかい演劇祭」の取り組みとこれから 成島洋子・仲村悠希 (SPAC-静岡県舞台芸術センター)	アジアと欧州の文化協力：新しい方向性 «英語» アヌバマ・シエカール (アジア欧州財団)	世田谷パブリックシアター 事業紹介 清水幸代	フィンランドと北欧諸国のダンスについて «英語» ピルエッタ・ムラリ (Dance Info Finland)	PACT ツォルフェルアイン レジデン トアーティストによる報告 «英語・日本語» (場合によってはドイツ語) 東京ドイツ文化センター	TACT/FEST 大阪国際児童青少年アートフェスティバル 2014 さくらこりん・落合由人	現代中国の日常への介入としての演劇 «英語» スン・シャオシン
スピード・ネットワークング 10分要予約	アーロン・グリーンワルド (Duke Performances エグゼクティブ・ディレクター) 唐津 絵理 (愛知芸術文化センター主任学芸員、あいちトリエンナーレ2013プロデューサー) 蔭山 陽太 (ロームシアター京都 支配人 兼 エグゼクティブディレクター) 崎山 敦彦 (KAAT神奈川芸術劇場 チーフプロデューサー) サラ・ウルファ (ジャカルタ芸術劇場芸術部門 プログラム・マネージャー) 矢作 勝義 (穂の国とよはし芸術劇場PLAT 事業制作チーフ) 横堀 ふみ (NPO法人DANCE BOX プログラム・ディレクター) 倉持 陽介 (スパイラル/(株)ワコールアートセンター アートプロデューサー部 象の鼻テラス担当)				ドミニク・ガルデ・トレス (フィリピン文化センター パフォーミング・アーツ部門 プロジェクト・コーディネーター) エミリオ・カリウ (Fundacao Cidade das Artes [City of Arts Foundation] 会長) 小島 寛大 (フェスティバル/トーキョー 事務局次長) 森 忠治 (せんだい演劇工房10-BOX プログラムオフィサー) ルネ・ヴァン・デン・ブライム (Stadsschouwburg Amsterdam 芸術監督) デヴィッド・レイヴェル (Alverno Presents ディレクター) 齋藤 啓 (鳥の劇場 制作担当) 下山 久 (「国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ」総合プロデューサー・芸術監督、エーシーオー沖縄 (芸術文化協同機構) 代表) 杉崎栄介 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ヨコハマ創造都市センター 担当リーダー)			